

目次

はじめに

I. 研究の概要	1
1. 研究の背景	1
(1) 知的障害のある児童生徒の障害の特性と教育的な対応	
(2) 国立特別支援教育総合研究所における、学習内容・方法に関わる研究	
(3) 知的障害教育における学習評価の課題点	
2. 研究の目的	4
3. 研究の構造	5
II. 知的障害教育における学習評価	8
1. 新学習指導要領や文部科学省発行資料等における学習評価	8
(1) 学習評価に関する基本的な考え方	
(2) 評価の基本構造	
(3) 観点別学習状況の評価について	
(4) 障害のある児童生徒など特別な配慮を必要とする児童生徒に係る学習評価について	
(5) 特別支援学校小学部・中学部における学習評価	
(6) 知的障害教育における体系的な学習評価のPDCAサイクル	
付表Ⅱ-1 学習評価に関わる用語について	
2. 知的障害のある児童生徒に係る学習評価	21
(1) 知的障害教育における「教科」の捉え方	
(2) 知的障害教育における学習評価の考え方	
(3) 学習評価とカリキュラム・マネジメントの関係	
3. 先行研究からみる個別の指導計画と学習評価の関連	24
(1) 個別の指導計画における学習評価の位置づけ	
(2) アセスメントにもとづく個別の指導計画の作成	
(3) まとめー アセスメントにおける学習評価の重要性	
4. 考察	30
III. 知的障害教育における単元づくりと学習評価	34
1. 単元づくりと学習評価	34
(1) 単元づくりにおける現状と課題	
(2) 単元作成プロセスモデル	
(3) 評価計画の作成	
(4) 単元のまとまりにおける総括的な評価	

2. 単元計画シートの作成	49
(1) 単元計画シートの特徴	
(2) 単元計画シートの作成方法	
(3) 単元計画シートの活用に向けて	
3. 単元づくりと学習評価の実施に向けて	53
IV. 事例研究	56
1. 本章の構成	56
2. 事例研究の概要	56
(1) 事例研究の目的	
(2) 事例研究の方法	
3. 研究協力機関の特色	58
(1) 熊本大学教育学部附属特別支援学校	
(2) 千葉県立つくし特別支援学校	
(3) 千葉県立千葉特別支援学校	
(4) 埼玉県立越谷西特別支援学校	
(5) 東京都立高島特別支援学校	
(6) 福島県立相馬支援学校	
(7) 神奈川県立武山養護学校	
(8) 山形大学附属特別支援学校	
4. 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの実践	81
(1) 熊本大学教育学部附属特別支援学校	
(2) 福島県立相馬支援学校	
5. 教科別の指導における単元作成と学習評価	97
(1) 国語科で、段階別に評価規準を設定し、生徒の自己評価も含めた学習評価をした事例（令和3年度）	
(2) 国語科で、取り扱う内容の段階が一つの集団に共通の評価規準を設定し、ABCの評語で評価レベルを分けて学習評価をした事例（令和4年度）	
(3) 国語科で、取り扱う内容の段階が一つの集団に共通の評価規準を設定し、想定される学習状況を記述した評価レベルを設定して学習評価をした事例（令和4年度）	
(4) 算数科で、取り扱う内容の段階が一つの集団に共通の評価規準を設定し、ABCの評語で評価レベルに分けて学習評価をした事例（令和3年度）	
(5) 社会科で、取り扱う内容の段階が複数の集団に共通の評価規準を設定し、個別に指導目標を立て学習評価をした事例（令和4年度）	
(6) 体育科で、取り扱う内容の段階が一つの集団に共通の評価規準を設定し、想定される学習状況を記述した評価レベルを設定して学習評価をした事例（令和3年度）	
(7) 音楽科で、取り扱う内容の段階が複数の集団に共通の評価規準と個別の目標を設定	

	して学習評価をした事例（令和4年度）	
6.	各教科等を合わせた指導における単元作成と学習評価	161
(1)	作業学習で、取り扱う内容の段階が複数の集団に共通の評価規準を設定し個別に指導目標を立て学習評価をした事例（令和3年度）	
(2)	生活単元学習で、取り扱う内容の段階が複数の集団に共通の評価規準を設定し個別に達成状況を評価した事例（令和4年度）	
(3)	遊びの指導で、重複障害のある児童に共通の評価規準を設定し個別に達成状況を評価した事例（令和4年度）	
(4)	作業学習で、段階別に評価規準を設定し、生徒の自己評価も含めた学習評価をした事例（令和4年度）	
(5)	生活単元学習で、取り扱う内容の段階が複数の集団に共通の評価規準と個別の目標を設定して学習評価をした事例（令和4年度）	
(6)	生活単元学習で、取り扱う内容の段階が複数の集団に生活年齢に応じた共通の評価規準を設定した上で、段階別の評価規準を用いて学習評価をした事例（令和4年度）	
7.	事例研究に関する考察	215
V.	総合考察	218
1.	一人一人の児童生徒に応じた学習内容と学習指導要領の目標・内容との関連性	218
(1)	つけたい力と学習指導要領の育成を目指す資質能力	
(2)	カリキュラム・マネジメントと単元作成プロセス	
2.	単元作成における単元目標と評価規準の関連	220
3.	知的障害教育における学習評価	225
4.	今後の課題	230
5.	おわりに	231
VI.	研究体制	233

委託研究	235
1. 知的障害のある児童生徒の主体的な学習を促す授業づくりと学習評価に関する研究 —「つけたい力」の指導と評価—	236
2. 知的障害教育における学習評価の効果的活用に向けて —「主体的に学習に取り組む態度」の評価におけるキャリア発達の視点と「対話」の 意義—	248
資料	257
A. 米国における知的障害児の学習評価	
B. イギリスの知的障害のある児童生徒の学習評価	